

川内萩ホール
クラシックコレクション

Kawauchi Hagi Hall
Classic Collection
Vol.4

ピアノ三重奏 楽都に響く ウィーンの調べ

モーツァルト/ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 K.502
ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」
メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 op.49

Vol.
4



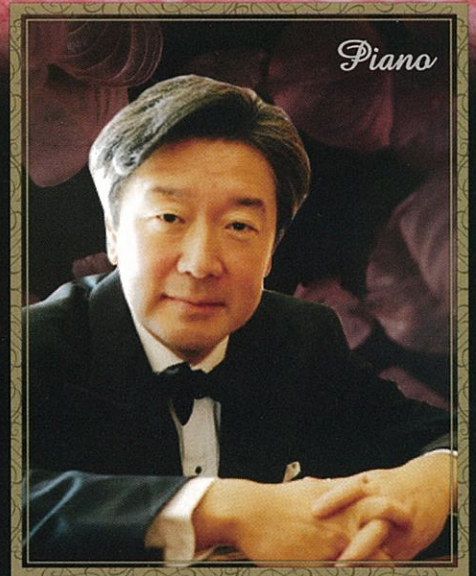
Violin

ウェルナー・ヒンク
Werner Hink



Cello

フリッツ・ドレシャル
Fritz Dolezal



Piano

菅野 潤
Jun Kanno

2010年7月4日(日)

13:15開場 / 13:30プレトーク / 14:00開演

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

プレトーク: 小野田泰明(東北大学工学研究科教授)

「楽/学都を支える二つの靴箱 -ウィーン楽友協会大ホールと川内萩ホール-」

全席指定: 一般5,000円 / 学生2,500円(税込) ※当日学生証をお持ち下さい。※未就学児の入場はご遠慮下さい。

2010年4月3日(土)10:00
チケット発売開始!

藤崎 / 仙台三越 / ヤマハ仙台店 / カワイミュージックショップ仙台 /
チケットぴあ(Pコード 102-712) / ローソンチケット(Lコード26377) / イープラス <http://eplus.jp/> /
セブン-イレブン / 河北チケットセンター TEL022-211-1189(平日10:00~17:00、4月5日から販売)

※学生券は、藤崎・仙台三越・ヤマハ仙台店・カワイミュージックショップ仙台・チケットぴあ・ローソンチケット・イープラス・セブン-イレブンでの取り扱い予定。
※東北大学校友会会員(会費納入者)は割引でチケットを購入できます。お申込み・お問合せ: 東北大学総務部広報課友係 TEL.022-217-5059

【主催】TBC 東北放送、東北大学、 HAL PLANNING

【協力】(財)仙台市市民文化事業団

【後援】オーストリア大使館、河北新報社

【お問い合わせ】TBC 事業部 TEL.022-227-2715(平日 9:30~17:30) <http://www.tbc-sendai.co.jp/>

ピアノ三重奏 楽都に響くウィーンの調べ

世界最高峰のオーケストラのひとつ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で長年にわたり、ソロ奏者&コンサートマスターとして活躍したウェルナー・ヒンク、そして同楽団チェロ首席奏者のフリッツ・ドレシャルが楽都・仙台に登場。オーケストラのみならず、室内楽演奏でも信頼関係の厚い二人がピアニスト・菅野潤を共演パートナーに選び、モーツァルト、ベートーヴェン、メンデルスゾーンのパiano三重奏を演奏します。ソリストの個性とアンサンブルの両方を味わえるピアノ三重奏曲の名曲をお楽しみ下さい。



ウェルナー・ヒンク Werner Hink / Violin

(ヴァイオリン)

元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスター。ウィーン弦楽四重奏団およびウィーン八重奏団のリーダー。1943年、ウィーン生まれ。ウィーン市立音楽院でヴァイオリンを専攻した後、ウィーン・アカデミー(現 ウィーン音楽・表現芸術大学)でフランツ・サモイル教授の教えを受け、1962年、最優秀にて卒業。1964年にウィーン・フィルの第1ヴァイオリン奏者、1968年には第1ヴァイオリンの首席奏者となり、1974年から2008年まで同オーケストラのコンサートマスターとして活躍した。1964年、ウィーン・フィルのメンバーとなった年に「ウィーン弦楽四重奏団」を同オーケストラ・メンバーと結成し、ウィーン楽友協会等のコンサートに登場。ウィーン弦楽四重奏団は、1973年よりRCA、カメラータでレコーディングを始め、50枚をこえる録音を残している。シューベルトの「死と乙女」では、1982年に音楽之友社のレコード・アカデミー賞を受賞。また、ソリストとしてもヨーロッパを中心に活躍している。



フリッツ・ドレシャル Fritz Dolezal / Cello

(チェロ)

1947年生まれ。ウィーン・アカデミー(現 ウィーン音楽・表現芸術大学)でフリーダ・リッシャウアー＝クラウス教授に師事する。在学中からアン・デア・ウィーン劇場のソリストになる。1968年、アカデミーにて、優秀賞を獲得。同年、ウィーン・フィルに入団する。1973年よりウィーン八重奏団に参加。続く1974年にはウィーン・フィルのチェロ首席奏者。また1985年からは、ウィーン弦楽四重奏団のチェロ奏者を務めている。ウィーン・フィルのメンバーとして、また前述した2つの室内楽団のメンバーとして、ウィーン芸術週間やザルツブルク音楽祭、草津国際音楽祭、Pacific Music Festival (PMF) など国内外で数多くの音楽祭に出演。このほか、ソロ活動も盛んに行っており、高い評価を得ている。ウェルナー・ヒンクとの室内楽共演は、三重奏、四重奏、五重奏、八重奏と多岐にわたり、重要な室内楽のパートナーとして活動している。



菅野 潤 Jun Kanno / Piano

(ピアノ)

1956年生まれ。桐朋学園音楽学部ピアノ科卒業。この間、三浦浩、御木本澄子、高良芳枝、安川加壽子の各氏に師事。1978年、来日中のオリヴィエ・メシアン、イヴォンヌ・ロリオ夫妻と出会い、その後フランス政府給費留学生として、パリ国立高等音楽院に留学。ピアノをイヴォンヌ・ロリオ、室内楽をモーリス・クリュット、ブルーノ・バスキエの各氏に師事し、1981年にピアノ科、1982年に室内楽科をそれぞれ一等賞を得て卒業。同年、パリ・エコール・ノルマル音楽院に在籍し、審査員全員一致で演奏家資格を得る。1982年から1984年にかけて、ヴィオッティ、カタンツァーロ、パリ国際室内楽他の国際コンクールに上位入賞、また1989年にはローマ、アヴェンティノ音楽祭にて最優秀演奏賞を受賞。パリを拠点とし、内外で演奏活動を行っている。室内楽の分野では、ウェルナー・ヒンク、フリッツ・ドレシャルが参加するウィーン弦楽四重奏団、ザルツブルク・モーツァルトテウム四重奏団、またピエール・アモワイヤル、ダニエル・グロギュラン、ブルーノ・バスキエの各氏らと、欧州各国及び日本で定期的に共演。また、指導者としても高い評価を受け、公開講座や夏期講習などでも指導を行うほか著名なコンクールで審査員を務めている。



東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/>
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内40

ホールへのアクセス

- 【バス】 ■仙台駅前9番のりばより「宮教大・青葉台行」または「青葉通経由動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車(乗車時間約15分)徒歩3分
- 仙台駅前16番のりばより「広瀬通経由交通公園・川内(営)行」または「広瀬通経由交通公園循環」に乗り、「川内郵便局前」で下車(乗車時間約15分)徒歩7分
- 【タクシー】 仙台駅から約10分、仙台空港から約40分
- 【徒歩】 地下鉄広瀬通駅から約25分

※所要時間は交通状況により異なります。
※駐車場には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。